

仕事との両立

がんでも働ける

仕事をしながらでも通院できます。

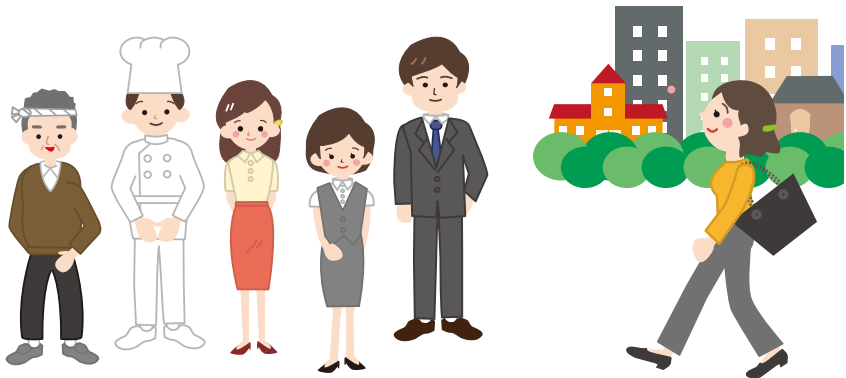
- ①就労世代のがん罹患率は全体の約3分の1を占める。
- ②がん罹患率の高い60歳以上の就労割合が増加している。
- ③女性の就労割合が増加している。



退院後の生活や就労を見据えた支援

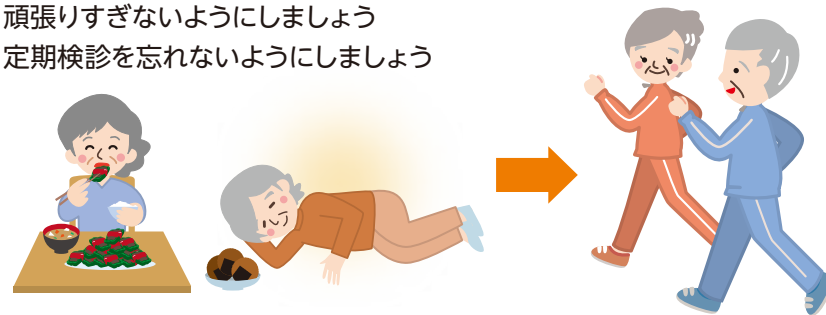
近年のがん治療は入院治療だけでなく、通院治療も選択可能となっています。理学療法士は、退院後の生活に向けた支援だけでなく、就労支援などの社会復帰へのサポートをします。

具体的には産業医をはじめとする多職種と連携し、現在の身体の具合と、仕事に関する情報(業種、勤務時間、通勤手段と時間、休憩時間など)の共有と改善の提案・調整などを行います。



がん治療と仕事の両立・継続

- 定期的に運動をしましょう
- 偏りがちな食生活に注意しましょう
- 健康的な体重を維持・管理しましょう
- 頑張りすぎないようにしましょう
- 定期検診を忘れないようにしましょう



相談する場所があります

がん治療と仕事の両立に関する相談ができる「がん相談支援センター」などがあります。

社内での仕事に関する相談は、「産業医」、「衛生管理者」、「社会保険労務士」などにご相談ください。

産業医

働き方のアドバイスや健康管理に関する助言や指導。

衛生管理者

労働者の健康管理や作業場の環境管理、労働衛生に関する教育。

社会保険労務士

労働と社会保険に関する法令の実施の相談や指導。



※身近な相談場所として院内の患者会などがあります。